

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0773300249		
法人名	有限会社 かみまの		
事業所名	認知症高齢者グループホーム 田園		
所在地	福島県南相馬市鹿島区山下字北山下21番地 (電話) 0244-47-2101		
評価機関名	福島県社会福祉協議会		
所在地	福島県福島市渡利七社宮111		
訪問調査日	H20.6.2	評価確定日	H20.7.25

【情報提供票より】(20年4月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤13人, 非常勤 2人, 常勤換算12.8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(4月30日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名	
要介護1	1 名	要介護2		2 名		
要介護3	7 名	要介護4		6 名		
要介護5	2 名	要支援2				
年齢	平均	86.8 歳	最低	71 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 田村内科医院 小野田病院 相良歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの名称の通り、のどかな田園地帯の中にあり、ホームの周囲にある畑で収穫された野菜を使って調理するなど、自然に満ちた環境の中で、利用者が職員や近隣住民の支援を受け生活している。管理者及びリーダー的職員は、長年にわたる高齢者、認知症支援についての経験を有しており、利用者にとって快適に生活できる体制が整っている。また、地域の各種団体や住民との関係作りにも積極的であり、様々な場面で支援を受けられる体制ができています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 外部4)
	運営推進会議の議事録を整備するとともに、利用者の高齢化や、重度化に対応するため看護師を雇用するなど前回評価に対する改善が見られる。前回の評価において改善すべき課題となっていた認知症介護研究・研修東京センター方式を取り入れた介護内容の評価について、今後取り組みが必要である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 外部4)
	運営者、管理者及び職員は、評価を行う意義について理解しており、自己評価については職員で話し合い、管理者がその内容をまとめた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 外部4, 5)
	運営推進会議は地域代表、関係団体代表、家族代表、行政担当者及びホーム担当者がメンバーとなっている。利用者やサービス内容、地域との関係作り、評価への取り組み状況等多岐にわたり報告や討議し、利用者のサービス向上へ役立っている。また、協議された内容は防災訓練やホームの行事へ運営推進会議のメンバーが参加する等、実際のホーム運営に反映されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 外部7, 8)
	利用者の家族に対し、毎月広報誌を発行し利用者の様子や健康等について報告すると共に、外来受診結果を毎回報告する等、利用者家族の不安へ対応するようにしている。また、投書箱を設置し、家族の意見や不満等を受けようとしているが、現在までの所まだ投書はない。家族来所時あるいは電話連絡時の相談、意見などについて記録に残し、職員で協議することにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 外部3)
	地元老人会と連絡を密にして、ホームの行事等に招待する他、近隣の保育園、小学校の行事に招待されるなどの関係を築いている。また、散歩の際には、近隣住民よりお茶をいただくなど、良好な関係を築いている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム創設にあたり管理者が理念を考え、一人ひとりの姿・形は違っていても介護に対する心は一つという趣旨の独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝のミーティングの際に復唱するなど、理念を理解し、介護に結びつくようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元老人会との連絡を密にし、行事への招待を受けたり、さらには近隣の保育園、小学校の学習発表会等の行事にも招待受けるなどの関係を築いている。また、ホームの夏祭りに地域住民を招待し、交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価について職員で話し合いを行い、その内容を管理者がまとめた。管理者・職員は外部評価についてその意義を理解している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、地域代表、地元老人会代表、利用者家族代表、行政担当者及びホーム担当者をメンバーとして構成されており、利用者に関することや、サービスの内容、評価の取り組み状況等、サービス向上に結びつく話し合いを行っている。</p>		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月広報誌を発行し、利用者やホームの様子を家族に報告すると共に、利用者の外来受診結果を毎回報告する等、家族に定期的及び個々にあわせた報告を行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>投書箱を設置し、意見・苦情などを受けようとしている他、家族からの口頭、その他の方法で意見・苦情等が寄せられた場合には、記録に残し管理者へ伝わるようにしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者と職員の馴染みの関係を作るため、ユニット間の職員の異動は行っていない。また、離職などにより職員の異動がある場合には、担当者から家族へ報告する等、利用者への影響を少なくするよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の能力に応じ、県及び相双地区グループホーム連絡協議会や県社会福祉協議会の研修に勤務に支障の無い限り極力参加させている。また、参加できなかった職員のため、ミーティング等にて研修内容の報告を行っている。	○	研修参加等、職員の育成に積極的に取組んでいるが、職員の育成目標の明確化、あるいは職員の自発性を引き出す観点から、年間研修・育成計画などを作成し、外部研修を明示するなど、さらに取組むようにして欲しい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相双地区グループホーム連絡協議会の研修に参加し交流を行っている他、職員と利用者が他のホームへ訪問し交流を図っている。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と共に暮らすという意識を持っており、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思表示が難しい利用者については言葉や表情からその真意を探り、確認するよう心がけている。さらには家族や関係者から情報を得るようにして、利用者の暮らし方の希望や意向の把握に努めている。	○	介護内容の評価の際、利用者の生活歴を基に日々の気づきや情報を記録し、利用者個々の暮らし方の希望や意向の把握に役立て、さらに利用者本位の支援が出来るよう図って欲しい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画の作成については、利用者及び家族の要望を聞き、職員による介護内容検討会議を経て作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の定期的な見直しの他、利用者の状態変化及び利用者・家族からの要望に応じて見直しを行っている。	○	介護計画の見直しについて、話し合った内容を記録し、見直しの経過がわかるようにしてほしい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望を大切にし、ホームの協力医及び利用者のかかりつけ医の受診を利用者家族の協力を得ながら行っている。また、かかりつけ医とホームの関係を築くよう配慮している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び終末期のあり方について、早い段階から利用者本人、家族、かかりつけ医等と話し合いを行っている。さらに職員間でも話し合いを持ち、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシー保護についてのマニュアルがあり、職員の利用者に対する対応について主任が点検を行い、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々利用者の希望に対応するよう努めており、理美容、買い物、散歩等、利用者一人ひとりの状態、健康状態に配慮しながら対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの開設当初は、利用者と職員と一緒に食事をする体制であったが、利用者の重度化に伴い、現在は食事介助を必要とする利用者への対応を行っている。献立はで利用者と職員が楽しく会話をしながら決めている。	○	様々な話題で話をするなど利用者の食べる意欲を高める工夫を行い、食事の時間が楽しいものとなるようにして欲しい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の日を設定しているが、利用者一人ひとりのペース、要望にも応じており、可能な限り毎日の入浴も出来るようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	利用者は掃除や洗濯等出来ることは職員と一緒にっており、日々の生活に張り合いを持っていただけるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	利用者本人や家族の希望に添う様配慮し、散歩の際には近隣住民よりお茶をいただく等、交流が図られている。買い物等車両を使っての外出も気軽に出かけられるよう対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵を掛けないケアの重要性を理解しており、居室には鍵が無く、玄関も日中は鍵を掛けていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地元青年団・消防団との連携及び、運営推進会議のメンバーや近隣住民の方も防災訓練に参加していただくなど、地域の協力が得られる様になっている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一週を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>介護職員の中に栄養士がおり、栄養バランスが取れるよう配慮されている。また、食事及び水分摂取量のチェックを行っており、利用者一人ひとりの状態に応じた対応を行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって不快な音や採光にも配慮すると共に、生活感や季節感を取り入れた装飾などを行い、快適に過ごせるよう工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室への使い慣れた家具などの持ち込みは自由であり、その配置も好みに応じている。また、トイレ・洗面化粧台は各居室に設置しており、利用者が他の利用者を気にすることなく、居心地良く過ごせるよう配慮している。</p>		

 は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム 田園

記入担当者名 唯野 雅己

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。